

履修モデル(1)(薬物治療学分野)

養成する人材像：科学的視点をもって高度医療に対応できる薬剤師 指導教員：早川 達、今田 愛也（薬物治療学分野、薬物治療学特論担当）						
年	期	分野	科 目	単 位	内 容	備 考
1	前	薬物治療学	薬物治療学特論	1	薬物治療学に関する知識を臨床活用するための方法を学ぶ。	
			薬物治療学特論特論演習	6	薬物治療学および臨床薬学課題研究に関連する文献調査、報告と討論、諸外国における疾患別薬物治療症例の解析。	
			情報機能薬学特論	1	病態によって変化する生体内情報伝達、生化学的反応を理解し、薬物治療によって病態による変化の是正を学ぶ。	
			病態制御医薬品学特論	1	病態制御医薬品学および課題研究に関連した文献調査・討論、病態制御医薬品学および課題研究についての報告・討論。	
		個別化医療薬学	遺伝子解析学特論	1	個別化医療の実現に必要な遺伝子解析や個別化薬物投与設計学の知識を学ぶ。	
↓						
1 後		薬物治療学	薬物治療学課題研究	20	薬物治療に関わる諸課題について、臨床現場と大学内の研究室で指導教員、派遣実務家教員、指導補助教員のもとで研究に従事する。 4年後期の後半期は、博士論文発表会、博士論文作成を行う。	
4 後						

履修モデル(2)(地域医療薬学分野)

養成する人材像：北海道の医療の現状を理解し、北海道の地域医療が抱える問題を発掘し、さらに解決できる能力を有する薬剤師
 指導教員：古田精一、櫻井 秀彦（地域医療薬学分野、在宅医療薬学特論担当）

年	期	分野	科目	単位	内容	備考
1	前	地域医療薬学	在宅医療薬学特論	1	現在の地域医療、在宅医療の問題点と地域包括ケアシステム構築の中で薬剤師の果たす役割を学ぶ。	
			在宅医療薬学特論演習	6	在宅医療における薬剤師の役割とその介入による効果を検証する。 在宅医療の有用性を医療経済学的な視点から検証する。 在宅医療に必要な薬剤師のスキルを検証する。	
			公衆衛生薬学特論	1	公衆衛生を予防医療の観点でとらえ、保健衛生の科学的・実践的知識を修得するとともに、環境諸要因に由来する健康被害の防止について学ぶ。	
		臨床薬学	病院薬剤学特論	1	病院薬剤師業に必要な知識を臨床の場で活用する方法を学ぶ。	
		個別化医療	臨床薬物動態学特論	1	臨床薬物動態学に関する知識を治療的薬物モニタリング（TDM）により臨床活用するための方法を学ぶ。	

↓

1 後 4 後		地域医療薬学	在宅医療薬学課題研究	20	在宅医療における薬剤師の課題を社会実験によって実証研究し、その有用性を明らかにする。研究活動は本学附属薬局で行ない、指導教員、派遣実務家教員、指導補助教員のもとで研究に従事する。 4年後期の後半期は、博士論文発表会、博士論文作成を行なう。	
------------	--	--------	------------	----	--	--